

令和 3 年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 3 年 8 月 19 日作成

大 学 名 : 敬和学園大学

タイトル : 「普通の生活」ってなんだろう? ~子どもの貧困を通して考える世界の現実~

1 : 本ワークショップの要旨

日本や外国では貧困が深刻な問題となっている。しかも貧しい国の人々が貧困から抜け出すのは難しいことである。本ワークショップでは日本の子どもの貧困の現状を学び、その原因を考え、さらには外国の貧困にも目を向け、貧しい国・地域が貧しい原因は日本を含む先進国側にもあることや貧しい国の子どもたちの働きのおかげで私たちが豊かに暮らせていることを学び、児童生徒が当事者意識を持って子どもの貧困の解決策を考えることができるようなきっかけにしたい。

2 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

- ・ 子どもの貧困の現状を学んでもらう
- ・ 私たちの平和な生活が当たり前ではないことを理解してもらう
- ・ 日本を含む先進国側が貧しい国の貧困の原因を作り出していることを理解してもらう
- ・ 「なぜ子どもの貧困は起こるのか」ということを考えてもらう
- ・ 子どもの貧困に対して当事者意識を持ってもらう
- ・ 子どもの貧困問題の解決に向けて私たちには何ができるのかを考えてもらう

3 : 本トピックをとりあげる理由

近年「持続可能な開発目標(SDGs)」が大きく取り上げられている。その中で「貧困をなくそう」や「質の高い教育をみんなに」が挙げられているように、国外では今もなお貧困や貧困のせいで学校に通うことができない子ども、満身に教育を受けられない子がいる。また私たちの国の利益のために他国では紛争が起こり、そのせいで貧困が悪化してしまう。このように私たち先進国側が開発途上国の貧困を悪化させている。私たちは日々の暮らしにおいてその責任を感じつつ、どう暮らしていくべきかを考えなくてはならない。さらに、これからの社会を作っていく児童・生徒は貧困問題を自分事として考え、貧困で苦しむ人々が自立できるように促さなくてはならない。このワークショップでは児童・生徒が貧困について深く学び、貧困解決のために自分は何ができるようなきっかけにしたい。

以上の理由から我々は本トピックを取り上げた。

4：活動過程

(使用時間： 90 分 参加人数： 25 人)

過 程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
導 入 : 起 (5 分)	自己紹介	それぞれのグループで自己紹介を行う。	ファシリテーターと児童生徒間にある緊張をほぐす。	パワーポイント	密を避けるために間隔をあけさせる。 児童生徒が騒がしくなり過ぎないように大学生は気をつける。
(10 分)	アイスブレイク	言葉の足し算	ファシリテーターと児童生徒間にある緊張をほぐし、楽しく活動する。		密を避けるために間隔をあけさせる。
(15 分)	ワードウルフ	学年によってお題を変える	貧困についての基礎知識を身に付けてもらう。		密を避けるために間隔をあけさせる。
(10 分)	休憩				
計 40 分					

展 開 : 承 (10 分)	クイズ	どんな差別から 貧困が発展する のか、開発地上 国の乳児死亡 率、中村哲さん、 緒方貞子さんの 功績についての クイズを出す。	外国の貧困 について知 ってもらおう。 外国の貧困 で苦しむ 人々や難民 を支援した 日本人がい たことを知 ってもらおう。	パワーポイン ト 番号札	密を避けるために 間隔をあけさせ る。
発 展 : 転 (15 分) (10 分) 計 25 分	劇 : 劇の振り返り	日本の小学生の 男の子が貧困で 苦しむ国の子ど もたちに話を聞 く。	貧困で苦し む国の現状 を知っても らう。 貧困で苦し む国の教育 格差につい て知っても らう。	パワーポイン ト 劇で使う小道 具など	密を避けるために 間隔をあけさせて 見せる。 密を避けるために 間隔をあけさせ る。

7：使用する教材

パワーポイント

模造紙

ペン

付箋

劇で使う小道具

8：参考にした資料

「人間の安全保障―貧困削減の新しい視点」国際協力機構 国際協力出版会 2007 年

「人間の安全保障」『国際連合広報センター』URL 所得日：2021 年 8 月 19 日

URL：https://www.unic.or.jp/activities/human_security/

9：その他

- ・パワーポイントを使ったワークショップになるので、パソコンやスライドを使用できる環境を用意していただきたいです。
- ・その他の不明な点に関しましては、事前打ち合わせの際に確認したいと考えています。